



▲参加者が親睦を深めた昨年のふれあいスポーツ大会

社会福祉法人留萌市社会福祉協議会主催のふれあいスポーツ大会は、障がい者の健康増進や参加者同士の親睦、市民との交流などを目的に開催されているスポーツイベントです。

大会では、留萌身体障害者福祉協会をはじめ、市内の障がい者就労支援団体などの利用者や職員、利用者の家族らが、借り物競争や玉入れなどの競技に取り組みます。昨年は、約1000人が競技に参加し、さわやかな汗を流しながら、交流の輪を広げました。

ふれあいスポーツ大会実行委員会事務局の小関明さんは「この大会は、一緒に

競技をしたり、昼食を食べながら会話を楽しむなど参加者が親睦を深める良い契機になっています。この大会を毎年、楽しみにしている参加者もたくさんいます」と話しています。

大会の模様について「フライングディスク投げや車いす競争など体を使う競技のほかにも、運が要となる競技なども行っています。参加者の皆さんは、順位よりも楽しむことが一番といった様子で、大会中は笑顔が絶えることはありません。」

さらに「障がいがあるなしを問わず、個性を尊重しながら触れ合うことが一番

の『おもいやり』だと思えます。変な特別扱いをしないことも大切ですね」と思いを語ってくれました。

「今年は8月1日に開かれ、34回大会となります。参加団体や関係団体、市民ボランティア団体の皆さんの協力のお陰と感謝しています。これからもたくさん皆さんの協力や理解を得ながら、気軽に参加できる大会として続けていきたいですね」と話してくれました。

◇

ふれあいスポーツ大会の詳細については、下記までお問い合わせください。

個性を尊重しながら触れ合い スポーツでさわやかに交流

ふれあいスポーツ大会実行委員会



ふれあいスポーツ大会実行委員会
こせき あきら
小関 明 さん